



思い出話に花が咲きました

東京在住の中頓別出身者で組織するなかとんべつ町故郷会（会長 川村文孝さん）が4月22日、東京グリーンパレスで懇親会を開催し、町長が出席しました。

川村会長は、「故郷で過ごされた思い出を振り返りながら、旧交を深め楽しい一日にしてください。」と挨拶。町長は、中頓別町の現況報告とともに故郷の応援団として支援と協力を要請しました。



住んでいてよかった いつまでも住み続ける ことができるまちづくり のために

第7期総合計画が策定されました

「一流の中頓別（いなか）づくり」をキャッチフレーズとした第6期総合計画（平成14年度～平成23年度）は、10年間の計画期間が満了し、今年度から第7期総合計画が新たにスタートしました。

新計画策定までの経緯

昨年度で終了した第6期総合計画に替わり、第7期総合計画が策定されました。

新総合計画にあたり、昨年6月に町民アンケートを実施。

中頓別町の現状と課題について、様々なご意見をいただきました。

アンケートからは、町民の多くが町に愛着を感じながらも、暮らしやすさの面で多くの問題を抱えていることが浮かび上がりました。

町長から新計画の策定を諮問された「総合開発委員会」（西浦岩雄委員長）ではアンケート結果の分析とともに、前期総合計画の総括を行い、中

頓別町がめざすべき将来像について多角的な議論が交わされました。

最終的には、「医療」「雇用」「子ども」「環境」「防災」、5つの重点課題が導き出されました。

新総合計画は、これらの重点課題を解決し、向こう10年間のまちづくりを推進するための基幹計画として、今年3月の議会に提案され、全会一致で議決されました。

自治基本条例の前文に謳われている「住んでよかったまちづくり」は、町民の幸せの向上をめざすものです。これを実現する手段として新総合計画の着実な実現が求められています。

計画の概要

この計画は、第1部まちづくりの基本的事項、第2部まちづくりの基本構想、第3部まちづくりの基本計画の3部構成となつていきます。

満足度ランキング

1	病気の早期発見のための各種検診や予防接種の取組み
2	ごみの減量と分別・リサイクル・省エネ対策など地球環境にやさしい取組み
3	子どもやお年寄りなどを交通事故や犯罪等から守る生活安全の取組み
4	健康づくりのための教室・講座などの取組み
5	町外につながる道路や町内での生活に必要な道路交通網の整備
6	水源地、河川など良好な水環境の保全と安全な水を確保する取組み
7	子ども達が自然体験活動に参加する取組み
8	鍾乳洞や希少な植物など、文化財の保護と活用
9	高齢者が安心して暮らせる福祉サービス、地域で支えあう仕組み
10	地域が支えあう自治会などによるコミュニティ活動

重要度ランキング

1	国保病院・診療所等の医療施設の確保と医療サービスの提供
2	生活に困らないための冬期間の除雪
3	病気の早期発見のための各種検診や予防接種の取組み
4	高齢者が安心して暮らせる福祉サービス、地域で支えあう仕組み
5	災害が発生したときにどうしたらよいのかわかる防災計画
6	災害時の避難所や誘導する経路の表示
7	災害時に備えた防災組織、消防団などの体制
8	子どもやお年寄りなどを交通事故や犯罪等から守る生活安全の取組み
9	地元で働きたい人や移住者を呼び込むための新たな雇用創出・就労対策
10	介護を必要とする人への包括的なケアサービスの取組み

課題度ランキング

1	地元で働きたい人や移住者を呼び込むための新たな雇用創出・就労対策
2	災害時の避難所や誘導する経路の表示
3	災害が発生したときにどうしたらよいのかわかる防災計画
4	商店街の活性化、地元購入の促進、公共事業等による地域経済の振興対策
5	生活に困らないための冬期間の除雪
6	買い物や、通院など、生活に必要な交通手段の確保
7	国保病院・診療所等の医療施設の確保と医療サービスの提供
8	農業の将来を担う後継者・担い手の確保
9	災害時に備えた防災組織、消防団などの体制
10	中頓別らしい魅力を活かした滞在型、体験型の観光(ツーリズム)振興

第7期総合計画町民アンケート結果のランキング

計画期間は、平成24年4月1日から平成34年3月31日までの10年間で、実施計画は5年間で、毎年5年分の見直しを行うこととされています。

将来人口の目標は1,720人(2021・平成33年10月人口)で、10年後の中頓別町のイメージは次の5つが掲げられています。

- ・地球思い、まち思い、自然豊かでみんながやさしくくらす町
- ・えがお、あいさつ、ささえあい。みんなが「絆」でつながる町
- ・安全で安心。みんながいつまでも住み続けたいと思える町

・楽しい、おいしい、気持ちいい。人がたくさんやってくる癒しの町

・元気、夢、未来。みんなが希望が持てる町

この5つのイメージを実現するための基本理念に掲げられた政策目標は、

- ・環境の保全と創造
- ・産業振興・地域経済の活性化と社会資本整備
- ・保健医療福祉の充実と安心安全
- ・子育て支援、教育の充実
- ・町民主役の町政推進

とされています。

計画の推進体制

政策目標を実現するため、庁内の担当課と総合開発委員で構成するプロジェクト会議が設置されました。

このプロジェクト会議では、今後計画される重要課題を緊急性、重要性、独自性を勘案し、最重要課題となる事業を選択して早急に実施計画に位置づけ、数値目標を設置し、第7期総合計画の達成を図ることになります。

まちづくりの主役は町民の皆さんです。10年後には心から「住んでいてよかった。これからも住み続けたい。」と思えるまちであるよう、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

第7期の概要版について、今月中に全戸配布することになっていますので、是非ご一読ください。

第7期総合計画推進プロジェクト会議

- 環境保全プロジェクト**
 担当課 まちづくり推進課まちづくり推進グループ
 産業建設課産業グループ
 教育委員会教育グループ
 保健福祉課保健福祉グループ
 総合開発委員会委員 田辺委員、ボーセン仁美委員
 専門部会委員 姉歯委員、高橋委員
- 経済振興と雇用創出プロジェクト**
 担当課 まちづくり推進課まちづくり推進グループ
 産業建設課建設グループ、産業グループ
 総合開発委員会委員 西浦委員長、峰友委員、村山委員
 専門部会委員 桜田委員、十倉(仁)委員、渡辺委員
- 安全安心、いつまでも住み続けられるプロジェクト**
 担当課 保健福祉課保健福祉グループ
 国保病院
 総務課総務グループ
 南宗谷消防組合中頓別支署
 総合開発委員会委員 水澤委員、安積委員
 専門部会委員 千葉委員、藤田委員、朝田委員
- 地域ぐるみ子育てプロジェクト**
 担当課 保健福祉課保健福祉グループ
 教育委員会教育グループ
 こども館
 総合開発委員会委員 四條委員、佐藤委員、
 専門部会委員 槇委員、菅原委員、福島委員

大切な森林を みんなで守りましょう



林野火災をなくし、貴重な財産を守ることを目的に毎年開催している中頓別地区林野火災予防消防対策協議会が、4月16日、役場会議室で開催され、宗谷森林管理署、南宗谷消防組合、枝幸警察署等から32名が出席しました。

林野火災は、長い年月をかけて育んだ地域の貴重な森林を一瞬で失うものです。また、消火活動が困難な山間部で発生することが多いため、乾燥や強風などの気象条件と相まって、大規模な被害へと発展する可能性があります。林野火災の発生原因は、ゴミ焼きやタバコの火の不始末など人為的なものが多くを占めていることから、貴重な森林を火災から守るためには、森林所有者や山菜採りなどで山を訪れる方々、地域住民の方々の予防意識が大切となります。

北海道の林野火災は、明治になり開拓の進展とともに急激に

増加し、明治44年には年間発生件数が523件、被害面積が約28万ヘクタールという記録があります。

その後、徐々に減少し、昭和50年代初頭からは、年間100件を下回り、平成18年から過去10年の平均では34件となっています。

宗谷管内における過去10年間の林野火災発生件数は、枯れ草焼きによるもの1件0・25ヘクタール、タバコやマッチによる火の不始末3件0・93ヘクタール、ゴミ焼きによるもの4件33・81ヘクタール、不明・その他によるものが6件12・49ヘクタールの火災が発生しました。

幸い、平成23年度は、被害がありませんでした。

特に乾燥している4月から6月の時期については、季節風の影響を受け、一度火が付くとなかなか消火しにくく、被害額



中頓別地区林野火災予防対策協議会（4月16日）

も莫大となりますので、より一層の注意が必要になります。

山火事の原因は主に2つに分かれます。

1つが自然発火で、雷や火山の噴火などが原因となり発生する場合や、まれにですが、枯れ葉同士が風で擦れあい、その摩擦で発生する火災もあります。

もう1つは人為的なもので、たき火やタバコの不始末、放火や焼畑農業などの原因が考えられます。

山火事が発生した場合の消火作業については、人の散水による消火は、ごく小規模な火災や火勢の弱い場合を除き行われません。地上からの消火作業は、土砂をかけることによる窒息消火が行われます。

特に日本の山林火災では急傾斜地が多いため、航空機やヘリコプターによる散水が行われますが、樹木を帯状に伐採し形成する防火帯による自然鎮火を待

つ場合もあります。水源が延焼域に近い場合は消防車による消火も行われます。

いずれにしても、消火作業には困難がつきまとい、一度火がつくと取り返しのがたないことになります。

そのため、中頓別町では4月21日から6月30日までを山火事警防強調期間としています。

林野火災発生原因のほとんどが人為的なものであるため、入林しようとする人には、入林許可が必要であるとともに、喫煙者は携帯用灰皿を携行するようにしてください。

一度火が付くと数十年かけて育ててきた木は一瞬のうちに燃えて灰になります。

森林は水や空気をつくりだす町民全体の財産。

入林する方は火の始末に十分注意してください。

うちの森林に限って…と
思っていませんか？
いつ来るかもしれない
「その時」のための

森林国営保険

8つの災害により契約森林が損害を受けたときに保険金が支払われます。
適用災害

火災、風害、水害、雪害、

干害、凍害、海害、噴火災

森林所有者の方が整備した森林はもちろん、企業や団体の森林づくり活動で整備した森林についてもご契約いただけます。

詳細、お申込みは、市町村、森林組合、都道府県森林組合連合会の窓口でお受けしています。

【林野庁】

千客万来を願って

鍾乳洞安全祈願祭

鍾乳洞の管理棟「ぬく森館」で、5月1日、町長をはじめ、管理委託先である振興公社職員や観光協会関係者等が集まり安全祈願祭が行われました。

今年は雪解けが2週間程度遅く、鍾乳洞オープンも遅れが心配されましたが、4月末の暖気の影響で、ようやく祈願祭にこぎつけました。

本格的な観光シーズンに向け、鍾乳洞で無事故と千客万来を願っての祈願祭でした。



中頼別いいとこ探し隊

知駒岳に春を探しに

中頼別の豊かな自然や四季の変化を体験しようと、そうや自然学校では、小学生を対象にいいとこ探し隊を募集。4月21日、知駒岳春探しに出かけました。

この日は好天に恵まれましたが、頂上はまだ風が冷たく、凍えるほど。それでも、厳しい自然環境の中でもたくましく自生する動植物など観察し、こども達感心しきり。粘り強くいきる力を育むことを学んだ早春の小旅行でした。



中小・中グラウンドの雪割

子ども達のために社会貢献

未だ深い雪に覆われた中小と中中の学校のグラウンドを一日でも早く子ども達に利用してもらおうと、4月18日から3日間にかけて細谷建設さんは、中学校のグラウンド、細建さんは、小学校のグラウンドの雪割を行ってくれました。この雪割で一気に雪解けが進み、土のグラウンドが顔を出しました。半年ぶりの土のグラウンドとの対面を待ちわびていた子どもたちは大喜び。

細谷建設さんと細建さんありがとうございました。



第二の人生を楽しもう

寿大学入学式

寿大学では、今年7名の新入生を迎えて入学式を行いました。寿大学の大学生は28名、大学院生は41名、研修院生は81名となりました。

今年の修学旅行は、知床方面に行くそうで学生達は楽しみにしている様子でした。サークル活動では、大正琴やパソコン、囲碁将棋が行われるとのことですが、その他にもたくさんの方の行事などが開催されるとのことです。充実した一年になるのではないのでしょうか。



図書室だより

『カウンターからの風景』

4月から図書ボランティアが9名で活動しています。小学校・中学校・乳幼児健診にお邪魔しますので、よろしくお願いします。

『この本大好き』

高山 聖加（たかやま せいか）ちゃん（5歳）
「ペネロペ」著…アン・グッドマン 岩崎書店
・テレビでも見ていたペネロペの仕掛け絵本で楽しく遊んでいます。（お母さん談）



■注目の新着本（一般書）

『舟を編む』

著：三浦 しをん 光文社

玄武書房に勤める馬締光也。営業部では変人として持て余されていたが、人とは違う視点で言葉を捉える馬締は、新しい辞書『大渡海』を編む仲間として辞書編集部を迎えられる。

個性的な面々の中で、馬締は辞書の世界に没頭する。言葉という絆を得て、彼らの人生が優しく編み上げられていく。しかし、問題が山積みの辞書編集部。果たして『大渡海』は完成するのか！



（児童書）

『はる・なつ・あき・ふゆ いろいろのいえ』 著：ロジャー・デューボアザン BL出版

ある4人家族が古い家を買いました。みんなでペンキを塗りなおすことにしたのですが、何色にしたらいいのかなか決まりません。そこで、お父さんはあることを考えます。さあ、どんな色の家になったのでしょうか。



『このゆびとつまれ』の活動』

4月3日にとしょかんまつりを行いました。読み聞かせの後、みんなで壁飾りを作り、図書室内に貼りました。読んだ本の感想を書いて、砂

金を積み上げよう！

このゆびとつまれ♪では、みなさんの読書感想を募集しています。

カウンターで用紙をもらい、感想（3行程度）を書いて下さい。

■今月の新着図書（4月28日現在）

一般向け図書

『古手屋喜十 為事覚え』 宇江佐 真理
『ヒア・カムズ・ザ・サン』 有川 浩
『限界集落株式会社』 最上 典世
『秘帖・源氏物語 翁』 夢枕 獏
『残念な人の仕事の習慣』 山崎 将志
『ツレと貂々、うつの先生に会いに行く』 細川 貂々
『思い違いの法則』 レイ・ハーバード

児童向け図書

『ダンプのちびトラ』 マージャリー・カイラー
『てじな』 土屋 富士夫
『みんなで！いえをたてる』 竹下 文子
『泣けちゃう怪談』 百瀬 しのぶ
『やさしい犬のおはなし』 あづまや ゆみこ
『さよなら、おばあちゃん』 西本 鶏介
『獣の奏者 利那外伝』 上橋 菜穂子
※その他、多数の新着図書があります。どうぞ、ご来室下さい。

介護予防

我が町の高齢者の元気度

介護保険制度

超高齢社会における介護問題の解決を図るため要介護者を社会全体で支える仕組みとして介護保険制度が定着してきましたが、一方で介護費用の増大を抑えるためにも高齢者の生活機能低下を未然に防止して維持向上させるための介護予防を推進しなければいけません。

民生委員さんの協力

そこで中頓別町では65歳以上の全高齢者へ自分の健康状態をチェックして介護予防に役立てて頂くために基本チェックリストを実施しました。平成23年7月に介護保険料の納付書と一緒に中頓別町の65歳以上の高齢者646人中、調査対象者となった方493人(74・3%)へ送

付し、(施設入居者、要介護、要支援者を除く)各地域の民生

委員さんに個別訪問して基本チェックリストを回収してもらいました。

今回はその回収結果をお知らせしたいと思います。表がその結果をまとめたものですが回収率は89・7%と高く、民生委員さんの協力の賜でした。

基本チェックリストのまとめ

中頓別町の高齢者は二次予防高齢者(虚弱高齢者)として該当した方が少なく309人(62・6%)の方は自分の健康状態を、「良い」または「普通」と判断しており、多くの方が健康と感じていました。男性が年齢が高くなるに連れ二次予防高齢者として該当する率が高くな

健康師さんの
健康宅配便
File No.223
今月の担当は
神田 節子

っているのに対して、女性は各年齢層ごとに平均して同程度の該当者がいました。運動器の機能低下で該当した方は、女性が男性の2倍になっており、腰痛症、膝関節症の疾患の増加とともに多くなっていました。低栄養では85歳以上の男性が2名と65歳代の女性が2名該当し、最も低い該当率となっており、高齢者の低栄養が少ないことがわかります。

口腔機能低下者は70名おり、60歳代では男性に多く、85歳以上では女性に多くなっています。

男性は若い年齢から口腔機能に何らかの問題を発生し、女性は75歳をピークに問題が発生しているのがわかりました。

基本チェックリストまとめ

	発送数	回収数	回収率
合計	493	442	89.70%

	人数	一般高齢	運動	低栄養	口腔
65～69歳	121	90	16	2	17
70～74歳	114	89	14	0	13
75～79歳	100	69	21	1	19
80～84歳	68	42	42	1	10
85歳以上	39	19	19	2	11
合計	442	309	87	6	70

*運動機能低下、低栄養、口腔機能低下でチェックされなかった方を一般高齢者としました

中頓別町地域包括では運動・口腔・栄養に関する介護予防プログラムをご紹介します。

まだまだ元気な今のうちから介護予防の取り組みに積極的に参加して健康長寿を実現させていこうではありませんか。お問い合わせをお持ちしています。

(電話6-2003)

臨時保健師 山口さおりさん
ご紹介



臨時保健師の山口です。平成23年度よりリハビリ教室や赤やん健診、特定健診などに関わらせてもらっていました。

今年度からリハビリ教室や特定健診の他に、認定調査や老人クラブの健康相談などにもかかわらせてもらうことになりました。

町民の皆さんと接する機会が増えると思います。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

休みの日などは簡単エアロビクスに参加したり、毎週水曜日にカンフー教室に参加してできるだけ、からだを動かすように心がけています。町でみかけましたら、気軽に声をかけてください。

今月のおすすめ料理

～旭台 山口 さおりさん～

うの花（おから）のコロッケの作り方

- ① ジャがいもは皮をむいて、ラップをして900wのレンジで3分加熱します。加熱したジャがいもはつぶして、塩コショウをします。
- ② うの花も冷めている場合、レンジで温めておきます。
- ③ うの花とつぶしたジャがいもを混ぜ合わせ、食べやすい大きさにまとめます。
- ④ ③に小麦粉、卵、パン粉を順につけて揚げます。

材 料

- うの花（調理済みのもの）・ 300g
- ジャがいも（中）・・・・・・ 3～4個
- パン粉・・・・・・ 適量
- 小麦粉・・・・・・ 適量
- 卵・・・・・・ 1個
- 揚げ油・・・・・・ 適量
- 塩コショウ・・・・・・ 適量



今回は、うの花を使ったコロッケをご紹介します。コロッケに使ううの花は、家庭で作った作り置きのもので、市販されているお惣菜のものでもいいようです。

豆腐を作る過程でできる豆乳のしぼりかす、うの花は食物繊維を多く含み、しかも低カロリーな食品です。コロッケにすることでお子様にも喜んで食べていただける一品です。

さつそく、食卓のメニューに加えてみませんか？

栄養士 市本美由紀

今月のおすすめ料理コーナーに載せてみませんか？お家で簡単に作れる一品を皆さんに紹介をさせていただきますので、保健福祉課（6-1995）にお知らせください。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

ー住んでいてよかった これからも住んでいたいー

戸籍だより

4月1日～4月30日受付分

おくやみ

字中頓別 丸山 フミさん
(89歳 4月2日)

字中頓別 内田 幸子さん
(88歳 4月2日)

人のうごき

(平成24年4月30日現在)

世帯 943(7)

人口 1,944(1)

男 956(3)

女 988(-2)

()内は前月対比

やまなみ吟社

四月例会

草餅や往きも帰りも道の駅

武田 雄峰

春日差しデーターサービスは話し場に

東海林 海峯

追憶の軍歌ばかりの花見の輪

菅原 貞子

子の鼻を擽りたくて春の風

高橋 妙子

囀りに暫し足止め山路行く

平田 栄珠

前髪の額であそぶ春の風

山崎 静女

春愁やあけつひろげの人でさえ

高橋 恵翠

労災精神障害専門調査員を活用した相談業務について

労災請求にかかわって各労働基準監督署で行っている精神疾患等の相談のほかに、セクシャルハラスメントなど職場のストレスによる精神障害に関する相談について専門調査員(臨床心理士)による相談窓口が開設されますのでご利用ください。

相談日は、4月27日から原則毎週月曜日と金曜日(閉庁日を除く)の9時から12時までの間となっております。

なお、相談日が変わる場合がありますので、ご利用される場合には、事前にお問合せください。

<相談窓口・お問合せ先>

〒060-8566 札幌市北区北8条西2丁目1番1

札幌第一合同庁舎 9階

北海道労働局 労働基準部 労災補償課 認定班

代表 (電話 011-709-2311 内線 3592)

固定資産税・軽自動車税は 納期内に納めましょう

町税は町民の皆さんが安心して暮らせる住みよい町づくりに欠かせない大切な財源です。

皆さんが納めた税金は福祉、産業、建設、教育など様々な分野に有効活用されていますので5月31日までに固定資産税(1期分)及び軽自動車税の納入をお願いいたします。

編集後記

4月16日に中頓別町林野火災協議会の取材で改めて感じたことは、火災原因は人為的なものが多いということです。自分も山菜採りなどで、入林したときに道路際にタバコの吸殻が捨ててあったのを見たことを思い出しました。

これから山菜の美味しい季節。多くの人が山菜採りに山に入られると思います。山菜を食べられるのも山があってこそです。本当に山火事には注意したいものです。(tady)

広報誌なかとんべつ 5月号 Vol.630

【発行】 2012年5月10日

【編集】 中頓別町総務課住民グループ 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172-6 TEL 01634-6-1111.FAX 01634-6-1155

HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>

e-mail : info@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

この広報誌は再生紙を使用しています。